

4領域の内3領域に偏りのある類型

- 他と比べて《言語、図形・数等、実技教科》に困難が多い -

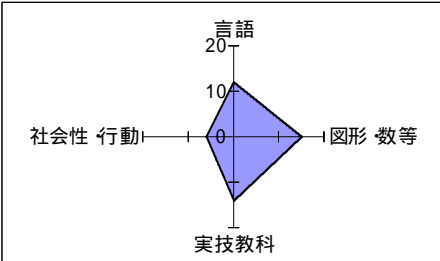
<例> 中学1年生 男子

人数	1	学年別	小4	小5	小6	中1	中2	中3
						1		

(1) 欠席等の日数

欠席	遅刻	早退
22	0	0

(2) プロフィール



言語と図形・数等と実技教科に偏りを示すタイプです。この生徒は、不登校状態にあり、また、全般的な発達の遅れも疑われます。不登校が教科学習の困難につながったのか、教科学習の困難が不登校を引き起こしたかは明らかではありません。しかし、自分を表現していく言語や実技教科において弱さが見られることから、今後さらに人間関係のつまずきも進んでいくことも考えられます。生育歴等を見直したり、教育相談等を活用し、自分を表現できる機会や場に配慮する必要があると考えられます。

(3) 指摘されている項目

言語	聞く	場や状況を理解し、語に込められたニュアンスを感じ取れないことが多い	音楽	リコーダー等旋律楽器で学年相当の曲を演奏する
		指示内容が複数の場合、まごついたり周りを見て行動することが多い		リズムを伴って打楽器を演奏する
		聞いたことがなかなか記憶できない		曲想や気持ちを表現をしながら歌をうたう
		相手の話を聞いていないことが多い		他のパートとの協調を意識して合唱する
		話合いについていけないことがしばしばある		集中して鑑賞する
	話す	会話がやりとりにならず、一方的に話す	美術	はさみやカッターナイフを使い、直線や曲線に沿って紙を切る
		特定の音が不明瞭である		紙の端を揃えて折ったり、畳んだり、物を包んだりする
		助詞の誤りが目立つ話し方をする		手指、掌等を十分働かせて、粘土などで造形する
		的確なことばを見つけれなかったり、詰まったりすることが多い		彫刻刀、小刀、のこぎり等の道具を危険性を感じさせずに使う
		話題に偏りがあったり、筋道なく思いつくまま語を並べて話す		見たこと、感じたこと、想像したことを絵に表す
読む	促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを読み違える	実技教科	ラジオ体操等、徒手体操	
	一字一字は読めるが、たどり読みであったり、順序を読み違えてとばしたり戻ったり、混乱することが多い		リレー等の走の運動	
	行をとばしたり、語を付け加えたりして読む		幅跳び、高跳び、反復横跳び等の跳の運動	
	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を読む		マット、鉄棒、平均台、跳び箱等の器械運動	
	文章の内容を把握できない		縄跳び	
書く	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を使う	体育	ボールの操作（投げる、受け止める、渡す、蹴る、ドリブル等）	
	促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを適切に使えない		スキップ動作	
	「だから」「けれども」などの接続詞を適切に使えない		模倣の運動	
	漢字の点画を間違ったり、類似の字を書いたり、アロファベットの文字に混同がある		表現運動	
	ある程度のとまりのある文章が書けない		ゲーム（バスケット、バレー、サッカー等）	
図形・数等の力	図形	三角定規・コンパスなどの器具を用いて、図形（円、多角形、平行四辺形など）を作図する	授業態度	席にじっと座ってられないことが目立つ
		図形の合同、対称に関して理解する		おしゃべりが非常に多い
		基本的な立体の特徴を理解する		雑音で課題から注意がそれやすく、持続することがとても難しい
		円周率の意味を理解し、計算に用いる		学習活動への取り掛かりが遅い
		～の上に(下に)、～の右に(左に)、～の前に(後ろに)などの空間を表すことばの意味が分かる		黒板の視写に時間がかかったり、作業が極端に遅い
	数	乗法九九を暗唱し、整数の乗法・除法の計算をする	社会性・人間関係	ぼーっとしている時がしばしば見られる
		約数・倍数を理解する		他の生徒にちょっかいを出すことがとても多い
		小数の乗法・除法計算をする		授業と関係ないことに没頭することがしばしばある
		分数の乗法・除法計算をする		質問に対して的外れな答えが多い
		2位数×(または÷)1位数の暗算をする		手悪さをしばしばする
日常生活に関する力等	多操作計算問題を解く(例 12×3 - 45÷9)	生活習慣	相手の嫌がることをしたり、言ったりすることがたいへん多い	
	一つの数を他の数の種や高としてみるなど、他の数と関係づける(例 3×4が12であることは分かるのに、12は3と何の積であるかがわからない)		他の生徒へのタッチが強すぎたり、トラブルやけんかが極端に多い	
	百分率を用いた計算をする		教師の声掛けや働きかけに対して、過敏であったり攻撃的な反応をしめしたりすることが多い(逆に、答えようとしなかったり、消極的反応が多い)	
	変化する数量間の関係を表やグラフで表す		話題が偏っていたり、その場の流れに合わない応答が多い	
	文章題を読んで立式する(加法・減法・乗法・除法)		独りでいることが多く、友達と口をきくことも少ない	
電話番号(市内局番を除く程度の桁数)の数字を記憶する		忘れ物が非常に多い		
時間概念を表すことば(一週間前・同後、一昨日・明後日、一昨年・再来年、より早い、より遅いなど)の意味が分かる		他の生徒よりワンテンが遅れる行動が多い		
日常生活に必要な程度の、おおよその長さや重さや容積の推測をする		机やロッカーの中がとても乱雑で、物をなくすことや、壊してしまうことが多い		
～から、まで、より(よりも)、以上、以下、未満などの数の増減、時間の経過や順序や比較の表現のためには用いる		身だしなみに極めて無頓着である		
数学の用語・記号・求積の公式を用いる		偏食、過食、少食などが著しい		

4領域の内3領域に偏りのある類型

- 他と比べて《図形・数等、実技教科、社会性・行動》に困難が多い-

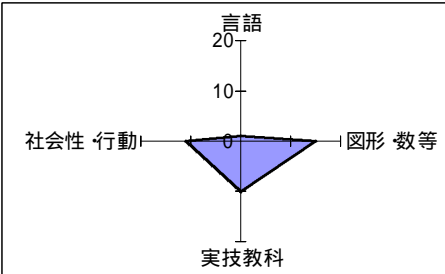
<例> 中学2年生 男子

人数	2	学年別	小4	小5	小6	中1	中2	中3
							2	

(1) 欠席等の日数

欠席	遅刻	早退
10	65	1

(2) プロフィール



実技教科と図形・数等と社会性・行動に偏りが見られるタイプです。例に示す生徒は遅刻が65日と非常に多く、他の1名は、欠席日数が68日の不登校状態にあります。

教育相談等を活用し、誰かが信頼できる他者として寄り添っていくことが大切と考えられます。課題の指摘項目の少ない言語領域を糸口に、コミュニケーション能力を促し、人間関係を深めていく中で、基本的な対人関係のスキルを改善していけると考えられます。

(3) 指摘されている項目

言語	聞く	場や状況を理解し、語に込められたニュアンスを感じ取れないことが多い	音楽	リコーダー等旋律楽器で学年相当の曲を演奏する	
		指示内容が複数の場合、まごついたり周りを見て行動することが多い		リズムを伴って打楽器を演奏する	
		聞いたことがなかなか記憶できない		曲想や気持ちを表現をしながら歌をうたう	
		相手の話を聞いていないことが多い		他のパートとの協調を意識して合唱する	
	話す	話合いについていけないことがしばしばある	集中して鑑賞する	美術	はさみやカッターナイフを使い、直線や曲線に沿って紙を切る
		特定の音が不明瞭である	紙の端を揃えて折ったり、畳んだり、物を包んだりする		
		助詞の誤りが目立つ話し方をする	手指、掌等を十分働かせて、粘土などで造形する		
		的確なことを見つけられなかったり、詰まったりすることが多い	彫刻刀、小刀、のこぎり等の道具を危険性を感じさせずに使う		
	読む	話題に偏りがあったり、筋道なく思いつくまま語を並べて話す	見たこと、感じたこと、想像したことを絵に表す	実技教科	ラジオ体操等、徒手体操
		促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを読み違える	リレー等の走の運動		
一字一字は読めるが、たどり読みであったり、順序を読み違えてぼしたり戻ったり、混乱することが多い		幅跳び、高跳び、反復横跳び等の跳の運動			
行をとぼしたり、語を付け加えたりして読む		マット、鉄棒、平均台、跳び箱等の器械運動			
書く	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を読む	縄跳び	体育	ボールの操作（投げる、受け止める、渡す、蹴る、ドリブル等）	
	文章の内容を把握できない	スキップ動作			
	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を使う	模倣の運動			
	促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを適切に使えない	表現運動			
図形・数等の力	図形	漢字の点画を間違ったり、類似の字を書いたり、アルファベットの文字に混同がある	社会性・行動	ゲーム（バスケット、バレー、サッカー等）	
		ある程度のとまりのある文章が書けない		授業態度	席にじっと座ってられないことが目立つ
		三角定規・コンパスなどの器具を用いて、図形（円、多角形、平行四辺形など）を作図する			おしゃべりが非常に多い
		図形の合同、対称に関して理解する			雑音で課題から注意がそれやすく、持続することがとても難しい
	基本的な立体の特徴を理解する	学習活動への取り掛かりが遅い			
	数	円周率の意味を理解し、計算に用いる	人間関係	黒板の視写に時間がかかったり、作業が極端に遅い	
		～の上に(下に)、～の右に(左に)、～の前に(後ろに)などの空間を表すことばの意味が分かる		ぼーっとしている時がしばしば見られる	
		乗法九九を暗唱し、整数の乗法・除法の計算をする		他の生徒にちょっかいを出すことがとても多い	
		約数・倍数を理解する		授業と関係ないことに没頭することがしばしばある	
		小数の乗法・除法計算をする		質問に対して的外れな答えが多い	
分数の乗法・除法計算をする		手悪さをしばしばする			
日常生活に関する力等	2位数×(または÷)1位数の暗算をする	生活習慣	相手の嫌がることをしたり、言ったりすることがたいへん多い		
	多操作計算問題を解く(例 12×3-45÷9)		他の生徒へのタッチが強すぎたり、トラブルやけんかが極端に多い		
	一つの数を他の数の積や商としてみるなど、他の数と関係づける(例 3×4が12であることは分かるのに、12は3と何の積であるかわからない)		教師の声掛けや働きかけに対して、過敏であったり攻撃的な反応をしめしたりすることが多い(逆に、答えようとしなかったり、消極的反応が多い)		
	百分率を用いた計算をする		話題が偏っていたり、その場の流れに合わない応答が多い		
	変化する数量間の関係を表やグラフで表す		独りであることが多く、友達と口をきくことも少ない		
	文章題を読んで立式する(加法・減法・乗法・除法)		忘れ物が非常に多い		
電話番号(市内局番を除く程度の桁数)の数字を記憶する	他の生徒よりワンテンポ遅れる行動が多い				
時間概念を表すことば(一週間前・同後、一昨日・明後日、一昨年・再来年、より早い、より遅いなど)の意味が分かる	机やロッカーの中がとても乱雑で、物をなくすことや、壊してしまうことが多い				
日常生活に必要な程度のおおよその長さや重さや容積の推測をする	身だしなみに極めて無頓着である				
～から、まで、より(よりも)、以上、以下、未満などの数の増減、時間の経過や順序や比較の表現のためことばを用いる	偏食、過食、少食などが著しい				
数学の用語・記号・求積の公式を用いる					

### 4領域の内3領域に偏りのある類型

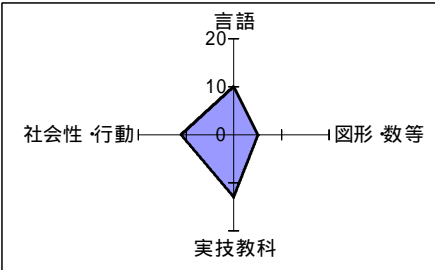
- 他と比べて《実技教科、社会性・行動、言語》に困難が多い -

<例> 小学6年生 男子

(1) 欠席等の日数

欠席	遅刻	早退
48	25	7

(2) プロフィール



言語と実技教科と社会性・行動に偏りを示すタイプです。この児童の不登校状態はかなり深刻です。この児童は、自分をうまく表現するために必要なコミュニケーション能力や、実技教科における表現活動の弱さが、対人関係や授業場面におけるつまずきにつながっていると考えられます。そして、それがさらに不登校につながっていることも推測されます。のびのびできるような活動を通して、基本的な対人関係をもつ力を援助していくことが必要と考えられます。

(3) 指摘されている項目

言語	聞く	場や状況を理解し、語に込められたニュアンスを感じ取れないことが多い 指示内容が複数の場合、まごついたり周りを見て行動することが多い 聞いたことがなかなか記憶できない 相手の話を聞いていないことが多い 話し合いについていけないことがしばしばある
	話す	会話がやりとりにならず、一方的に話す 特定の音が不明瞭である 助詞の誤りが目立つ話し方をする 的確なことを見つけられなかったり、詰まったりすることが多い 話題に偏りがあったり、筋道なく思いつくまま話を並べて話す
	読む	促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを読み間違える 一字一字は読めるが、たどり読みであったり、順序を読み違えてとぼしたり戻ったり、混乱することが多い 行をとぼしたり、語を付け加えたりして読む 基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を読む文章の内容を把握できない
	書く	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を使う 促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを適切に使えない 「だから」「けれども」などの接続詞を適切に使えない 漢字の点画を間違ったり、類似の字を書いたり、鏡文字を書くことがある ある程度のもままりのある文章が書けない
図形・数等の力	図形	直線の平行や垂直の関係について理解する 図形(平行四辺形、台形、ひし形など)の特徴をつか 立方体及び直方体の特徴をとらえ、見取り図や展開図を描く コンパス、三角定規などの器具を用いて、円や多角形を描く ～の上に(下に)～の右に(左に)～の前に(後ろに)などの空間を表すことばの意味が分かる
	数	2位数同士の加法・減法計算を30秒程度の時間内でする くり上がりりり下がり忘れず、4位数までの加法・減法の筆算をする 多操作計算問題を解く(例 $8 \div 2 - 5 \times 3$ ) 億・兆の単位について知り、それらの数の大小や順序を理解する 乗法九九を暗唱し、整数の乗法及び除法の計算をする 小数の意味を知り、加法及び減法の計算をする 分数の意味を知り、同分母の分数の加法及び減法の計算をする 四則の相互関係について理解する 変化する数量間の関係を表やグラフで表す 文章題を読んで、立式する(加法・減法・乗法・除法)
日常生活の数に関する力	電話番号(市外局番を除く程度の桁数)の数字を記憶する 時間概念を表すことば(きのう・今日・あした、去年・今年・来年、より早い・より遅いなど)の意味が分かる 日常生活に必要な程度の時刻や時間を計算によって求める ～から、まで、より(よりも)、以上、以下、未満などの数の増減、時間、順序の基準になることばの意味が分かる 算数の用語・記号・求積の公式を理解する	

実技教科	音楽	鍵盤ハーモニカ、リコーダー等で学年相当の曲を演奏する 鍵盤楽器を演奏する リズムを伴った打楽器の演奏ができる 身体表現をしながら歌をうたう 他のパートとの協調を意識して合唱する
	図工	はさみを使い、直線や曲線に沿って紙を切る 折り紙の端を揃えて折る 手指、掌等を十分働かせて、粘土で立体を作る 彫刻刀、小刀、のこぎり等の道具を危険性を感じさせずに使う 見たこと、感じたこと、想像したことを絵に表す
	体育	ラジオ体操等、徒手体操 かけっこ、リレー等の走の運動 幅跳び、ゴム跳び、反復横跳び等の跳の運動 登り棒、鉄棒、平均台、跳び箱等の器械運動 縄跳び ボールの操作(投げる、受け止める、渡す、蹴る、ドリブル等) スキップ動作 模倣の運動 表現運動 ゲーム(鬼ごっこ、ドッジボール、ポートボール等)
社会性・行動	授業態度	席にじっと座ってられないことが目立つ おしゃべりが非常に多い 雑音で課題から注意がそれやすく、持続することがとても難しい 新しいもの、難しそうなものだと「分からない、出来ない」と言って、学習や活動への取り掛かりが遅い 黒板の視写に時間がかかったり、作業が極端に遅い ぼーっとしている時間が多くみられる 他児にちょっかいを出すことがとても多い 教師の注意をひこうとする振る舞いが多い 質問に対して的外れな答えをすることが多い 手悪さをしばしばする
	人間関係	相手の嫌がることをしたり、言ったりすることがたいへん多い 他児へのタッチが強すぎたり、けんかが極端に多い いつも独りでいて、友達と口をきくことはめったにない 教師の問いかけに対して黙っていて答えようとしな 教師からの働きかけに対して口ごたえが多い
生活習慣	忘れ物が非常に多い 遅刻が多い 机の中、ロッカーの中がとても乱雑である 偏食、過食、少食などが著しい 物をよくなくしたり、壊したりする	

4領域の内3領域に偏りのある類型

- 他と比べて《社会性・行動、言語、図形・数等》に困難が多い -

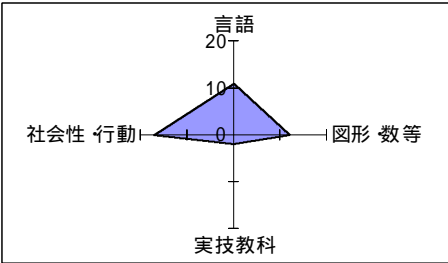
<例> 中学1年生 男子

人数	1	学年別	小4	小5	小6	中1	中2	中3
						1		

(1) 欠席等の日数

欠席	遅刻	早退
20	17	7

(2) プロフィール



社会性・行動と言語と図形・数等に偏りが見られるタイプで、この生徒は不登校状態にあります。

コミュニケーション能力や実技教科以外での学習の弱さが、対人関係や授業場面でのつまづきにつながっていることが推測できます。また、それが不登校のきっかけの一つになっていることも考えられます。苦手でない実技教科では「自己有能感」をもちやすいことに配慮し、教育相談等を活用して、興味や関心のもてるものを見いだしたり、意欲を育てたりすることが必要と考えられます。

(3) 指摘されている項目

言語	聞く	場や状況を理解し、語に込められたニュアンスを感じ取れないことが多い	音楽	リコーダー等旋律楽器で学年相当の曲を演奏する
		指示内容が複数の場合、まごついたり周りを見て行動することが多い		リズムを伴って打楽器を演奏する
		聞いたことがなかなか記憶できない		曲想や気持ちを表現をしながら歌をうたう
		相手の話を聞いていないことが多い		他のパートとの協調を意識して合唱する
話す	読む	相手の話を聞いていないことが多い	美術	集中して鑑賞する
		話合いについていけないことがしばしばある		はさみやカッターナイフを使い、直線や曲線に沿って紙を切る
		話がやりとりにならない、一方的に話す		紙の端を揃えて折ったり、畳んだり、物を包んだりする
		特定の音が不明瞭である		手指、掌等を十分働かせて、粘土などで造形する
読む	書く	助詞の誤りが目立つ話し方をする	実技教科	彫刻刀、小刀、のこぎり等の道具を危険性を感じさせずに使う
		的確なことを見つけられなかったり、詰まったりすることが多い		見たこと、感じたこと、想像したことを絵に表す
		話題に偏りがあったり、筋道なく思いつくまま語を並べて話す		ラジオ体操等、徒手体操
		促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを読み違える		リレー等の走の運動
図形	数	一字一字は読めるが、たどり読みであったり、順序を読み違えてとばしたり戻ったり、混乱することが多い	体育	幅跳び、高跳び、反復横跳び等の跳の運動
		行をとばしたり、語を付け加えたりして読む		マット、鉄棒、平均台、跳び箱等の器械運動
		基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を読む		縄跳び
		文章の内容を把握できない		ボールの操作（投げる、受け止める、渡す、蹴る、ドリブル等）
図形・数等の力	日常生活に関する力等	基本的な漢字を習得していないのに、難解な漢字を使う	社会性・人間関係	スキップ動作
		促音や拗音、助詞「は」「を」「へ」などを適切に使えない		模倣の運動
		「だから」「けれども」などの接続詞を適切に使えない		表現運動
		漢字の点画を間違ったり、類似の字を書いたり、アロファベットの文字に混同がある		ゲーム（バスケット、バレー、サッカー等）
図形・数等の力	日常生活に関する力等	ある程度のとまりのある文章が書けない	授業態度	席にじっと座ってられないことが目立つ
		三角定規・コンパスなどの器具を用いて、図形（円、多角形、平行四辺形など）を作図する		おしゃべりが非常に多い
		図形の合同、対称に関して理解する		雑音で課題から注意がそれやすく、持続することがとても難しい
		基本的な立体の特徴を理解する		学習活動への取り掛かりが遅い
図形・数等の力	日常生活に関する力等	円周率の意味を理解し、計算に用いる	社会性・人間関係	黒板の視写に時間がかかったり、作業が極端に遅い
		～の上に(下に)、～の右に(左に)、～の前に(後ろに)などの空間を表すことばの意味が分かる		ぼーっとしている時がしばしば見られる
		乗法九九を暗唱し、整数の乗法・除法の計算をする		他の生徒にちょっかいを出すことがとても多い
		約数・倍数を理解する		授業と関係ないことに没頭することがしばしばある
図形・数等の力	日常生活に関する力等	小数の乗法・除法計算をする	人間関係	質問に対して的外れな答えが多い
		分数の乗法・除法計算をする		手悪さをしばしばする
		2位数×(または÷)1位数の暗算をする		相手の嫌がることをしたり、言ったりすることがたいへん多い
		多操作計算問題を解く(例 12×3-45÷9)		他の生徒へのタッチが強すぎたり、トラブルやけんかが極端に多い
図形・数等の力	日常生活に関する力等	一つの数を他の数の積や商としてみるなど、他の数と関係づける(例 3×4が12であることは分かるのに、12は3と何の積であるかがわからない)	生活習慣	教師の声掛けや働きかけに対して、過敏であったり攻撃的な反応をしめしたりすることが多い(逆に、答えようとしなかったり、消極的反応が多い)
		百分率を用いた計算をする		話題が偏っていたり、その場の流れに合わない応答が多い
		変化する数量間の関係を表やグラフで表す		独りでいることが多く、友達と口をきくことも少ない
		文章題を読んで立式する(加法・減法・乗法・除法)		忘れ物が非常に多い
図形・数等の力	日常生活に関する力等	電話番号(市内局番を除く程度の桁数)の数字を記憶する	生活習慣	他の生徒よりワンテンが遅れる行動が多い
		時間概念を表すことば(一週間前・同後、一昨日・明後日、一昨年・再来年、より早い、より遅いなど)の意味が分かる		机やロッカーの中がとても乱雑で、物をなくすことや、壊してしまうことが多い
		日常生活に必要な程度の、おおよその長さや重さや容積の推測をする		身だしなみに極めて無頓着である
		～から、まで、より(よりも)、以上、以下、未満などの数の増減、時間の経過や順序や比較の表現のためには用いる		偏食、過食、少食などが著しい
図形・数等の力	日常生活に関する力等	数学の用語・記号・求積の公式を用いる	生活習慣	